

NEWS TOPICS

町なみ再生連続講座 今年度第1回(総第9回)講座を開催しました!

| 2020年7月4日 スピニングミル2Fホールにて 午後1時30分~ |

テーマ:「近代化遺産からみた堺の近代化」

講師:堺市文化財課主査 近藤 康司氏

今回の講座は、「近代化遺産」というテーマにちなんで、堺市の近代化遺産の一つである、旧紡績工場の社屋を会場として開催されました。この旧紡績工場の社屋は現在、スピニングミルと名付けられ、写真スタジオやイベント・レンタルスペースとして活用されています。その本物の近代化遺産の中で、堺市の近代化にともなって作られた建築物や設備について、スライドを交えながら分かりやすく解説されたので、参加者も当時の堺の近代化の状況や雰囲気がよく理解でき、大変好評でした。講演後も活発に質問や意見・感想等が出され、講演会は大変盛況でしたが、反面、失った物の大きさにも気付かれ、複雑な思いがしました。



堺

環濠都市

NEWS

[ニュース]

北部

発行日:2020.10.9
発行者:堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会
編集:協議会+musubi design
連絡先:〒590-0930 堺市堺区柳之町西1丁1-28
TEL.072-228-0953(志賀)
URL:http://sakaimachinami.jp/

歴史的まちなみを
未来に活かすため

コロナに負けず、
今年も行灯を展示!

vol.26

INFORMATION

▶町なみ再生イベント週間[10/28(水)~11/3(火・祝)に開催]

<イベント・その1>展示「地域のみなさんとともに学ぶ、歴史的風致(ふうち)と文化的景観」
日時:イベント週間期間中の13:00~16:00 場所:堺町家案内所(北旅籠町大道西・内田家住宅1F)
<イベント・その2>昔・町なみ歩こうイベント
今回は、期間中の4日間(10月29日・30日、11月1日・3日)開催。
10:30 上記案内所集合(申込不要)、12:00 頃解散予定。以上、詳しくはチラシまたはHPをご覧ください。

▶11月の月いちバザー ※10月はお休みです! 11月は着物バザー。時間は通常時間です!

11月21日(土)/22日(日) 場所:堺町家案内所(北旅籠町大道西・内田家住宅1F)
時間:11:00~16:00

▶12月の月いちバザー ※今年最後のバザーです。なお、1月はお休みです。

12月19日(土)/20日(日) 場所:堺町家案内所(北旅籠町大道西・内田家住宅1F)
時間:11:00~16:00

※予定は変更になることがあります。

▶協議会へのお問い合わせはこちら
堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会
TEL 072-228-0953 [志賀]
MAIL info@sakaimachinami.jp

▶「まちなみ修景補助制度」へのお問い合わせはこちら
堺市 建築都市局 都市計画部 都市景観室
TEL 072-228-7432
FAX 072-228-8468 担当:福島、加賀山、田中

今号の表紙

今号の表紙は、前ページで解説した元堺大絵図の模写本(堺市博物館蔵)の最も北の部分です。環濠に架かる北の橋から北に伸びた紀州街道には、松並木が描かれ、現在の町名でもある並松町の由来を思い起こさせます。また、環濠沿いにも松が描かれ、近年の柳があったという風情とは少し違うようです。また、紀州街道上にある「北旅籠町」という町名は、歴博の絵図では「北旅籠町」となっており、現在の「北旅籠町」という表記と同じです。表紙の地図の左下の方には、井上関衛門家(鉄砲鍛冶屋敷)や山伏清学院の名前が見えます。



【元堺大絵図模写本】【部分】(堺市博物館蔵)

前号NEWS発行から
現在までの進捗情報

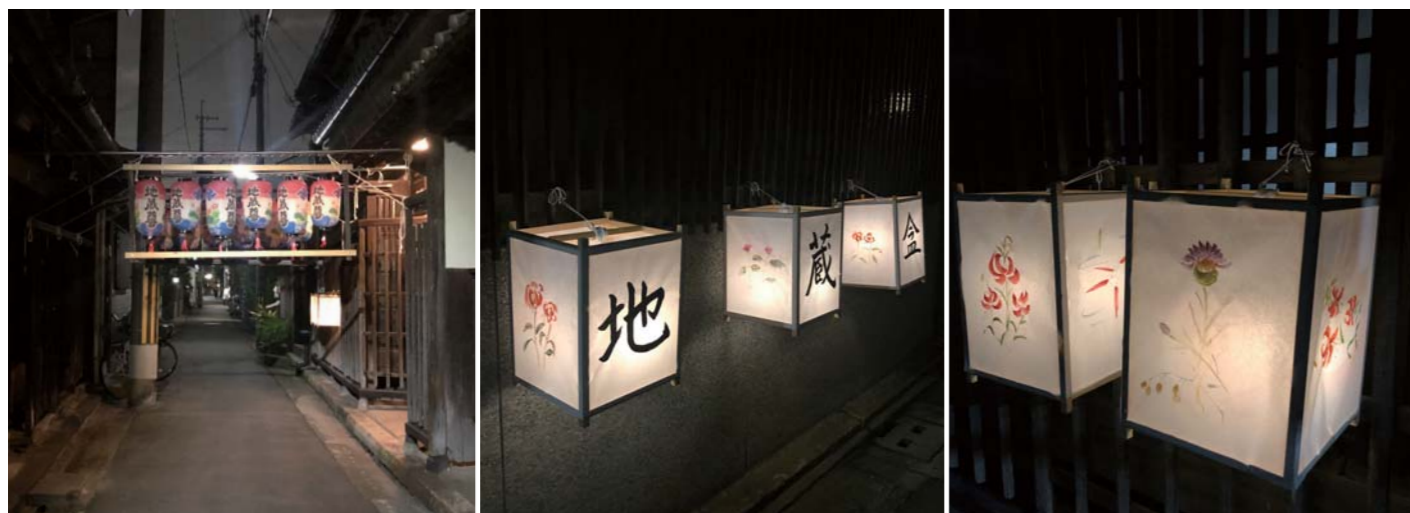
地蔵盆の行灯を展示しました！

8月23日(日)17時～21時・8月24日(月)9時～12時
〈第1会場〉六万休地蔵から櫻館(桜之町西3丁六軒筋)／〈第2会場〉来迎寺門前の駐車場(綾之町西2丁)

今年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、行灯作成のワークショップは取りやめ、希望者に各自描いていただいた絵をお預かりして、行灯を作り、それを、例年と同じ会場に展示しました。また、展示時間も短縮しました。

▶ 第1会場 六万休地蔵から櫻館(桜之町西3丁六軒筋)

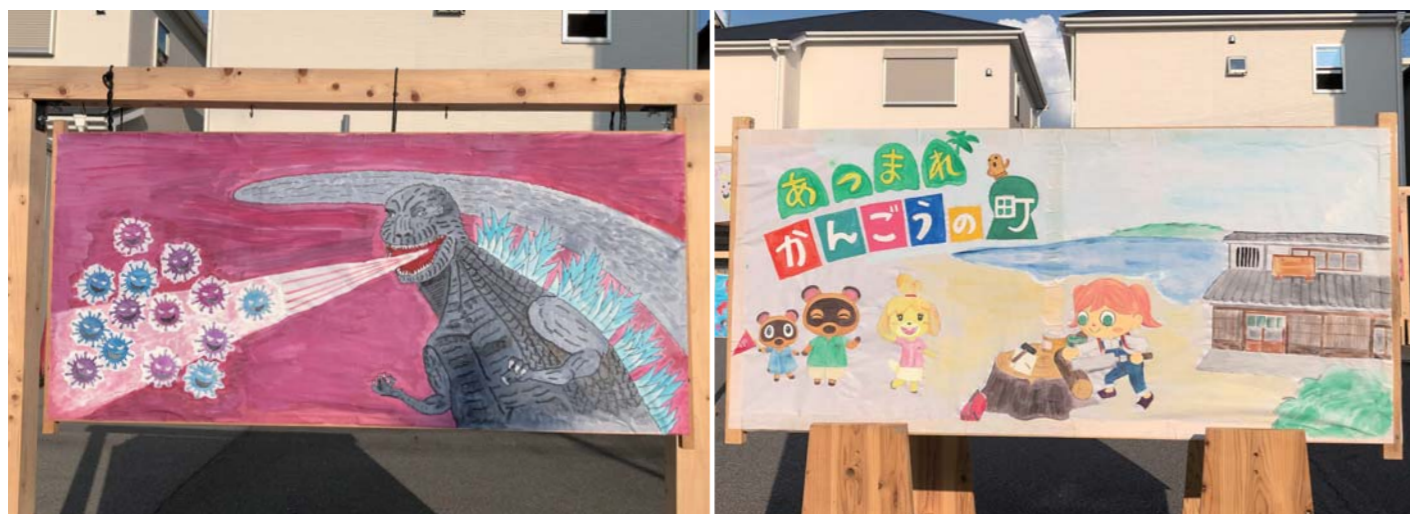
今年は、六万休地蔵も、近所の方が絵出でされる提灯等の飾り付けを取りやめられることになったので、昨年までここに置いていた大行灯1台は第2会場に移し、小行灯三つをお地蔵さんの斜め向いのお家の窓の格子にかけました。また、櫻館の入り口のところにも、二つを展示しました。



▶ 第2会場 来迎寺門前の駐車場(綾之町西2丁)

第1会場の大行灯1台もこちらに展示し、大行灯が合計3台となりました。また、大行灯の絵を描いてくれるグループも募集し、力作が揃いました。

今年は、天候に恵まれ、行灯を描いてくれた子どもたちのご家族をはじめ、たくさんの方々が夜の灯りがともった行灯を見に来られました。



元禄堺大絵図について

元禄2年(1689年)の堺大絵図と呼ばれるものは現在までに2点確認されています。いずれも広げると30畳にもなるという大きなもので、1点は、以前民間で縮刷復刻版が発行され、現在、国立歴史民俗博物館(以後、「歴博」と略称)に所蔵されているもので、歴博所蔵後修復されて展示会も開催され、一般に知られている絵図です。

もう1点は、堺市博物館に収蔵されているもので、現在劣化が激しく、展示が難しい状態のようです。ただし、昭和5年(1930年)に発行された『堺市史』のために、画家による詳細な模写本が、全体を40枚以上の部分に分けた地図帳の形で制作され、現在デジタルデータ化されて参照することができます。今号では、その一部を表紙に採用しました。

なお、上記3種類の絵図(原本2点・模写本1点)については、歴博の絵図の里帰り展示(於堺市博物館)の図録『復興—元禄の堺大絵図を読み解く』に詳しく解説されています。